

# 平成17年度 事業計画

財団法人名古屋国際センター（以下「国際センター」という。）は、名古屋を中心とした中部一円における市民レベルの国際交流及び国際協力を行うことにより、相互理解に基づく多文化共生社会の形成を促進し、誰もが共に豊かに安心して暮らせる社会の実現を目指し、各種事業を実施する。具体的には、海外及び国内の情報提供、各種相談を行うことによる外国人の住みやすい環境づくり、研修事業を通じての国際理解の促進、国際交流行事の開催による交流の機会の提供、留学生支援のための宿泊施設の提供等を実施する。

## I 情報収集提供・相談事業

### 1 情報収集提供事業

#### (1) 情報サービスコーナーの運営（⑩16,371千円→⑪16,021千円）

情報カウンターでは、日本人に対しては留学、海外の生活、国際交流・協力等に関する情報を、外国人に対しては住い、病院、就職、在留資格、交通・観光など日本での生活に欠かせない情報を英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ハングル、フィリピン語及びフランス語で提供する。また、英語及びポルトガル語による世界のニュース等を常時放映するとともに、インターネットコーナーを設置し、来館者の利用に供する。

#### (2) ライブラリーの運営（⑩8,606千円→⑪11,006千円）

##### ア 資料室の運営

海外紹介図書、事典・辞書、教科書、絵本、国際交流・国際理解に関する図書、日本語教材及び日本の文化等に関する図書、地図を配架し、閲覧・貸し出しを行うとともに、海外の新聞、雑誌などを配架する。

海外文庫では、外国人に人気の高い小説を配架し、貸し出しを行う。

##### イ 地球市民教育リソースセンターの運営 [新規]

地球市民意識の醸成を図ることを目的に、国際理解教育や開発教育等に関する図書・資料や教材・ビデオ等の視聴覚資料、関連の人材・団体情報を収集・提供する。

##### ウ ビデオライブラリーの運営

海外紹介、日本紹介、国際理解、日本語学習のためのビデオやDVDを収集し、視聴の機会を提供するとともに、学校等への貸し出しを行う。

エ 姉妹友好都市コーナー、中部圏コーナーの運営

名古屋市の姉妹友好都市に関する図書・資料を収集し、配架する。また、中部圏の各都市が発行した外国語による資料等を収集し、配架する。

(3) FM放送による外国人向け情報提供事業 (⑩100千円→⑰100千円)

外国人聴取者の多いFM放送(ZIP-FM及び愛知国際放送)で、生活関連情報・イベント情報等を提供する。ZIP-FMでは4言語(英語、ポルトガル語、中国語、ハンガール)、愛知国際放送では5言語(英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語、韓国・朝鮮語)で情報提供する。(注)愛知国際放送の言語名は、放送局の表記方法による。

(4) 外国人相談・情報提供担当者会議

愛知県内市町村、国際交流協会等において、外国人相談・情報提供を行っている実務担当者を対象に、相談業務の円滑・適正化と相互意見交換を図る会議を(財)愛知県国際交流協会と協力して開催する。

2 相談事業

(1) 海外児童生徒教育相談 (⑩1,668千円→⑰3,225千円)

出国・帰国に伴う児童・生徒等の教育等諸問題に対応するため、関係機関・団体等と緊密な連携のもとに火曜～土曜の週5日、相談を行う。

(2) 外国人市政相談 (⑩13,029千円→⑰13,000千円 注：外国人法律相談分を含む)

名古屋市から委託を受けて、火曜～土曜の週5日、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ハンガール及びフィリピン語で専門の相談員による市政を中心とした外国人生活相談を実施する。あわせて、トリオホン(3者通話システム)により区役所等における外国人相談者の通訳を行う。

(3) 外国人法律相談

名古屋市から委託を受けて、弁護士による外国人法律相談を毎週土曜日に(1回原則4名)英語、ポルトガル語、スペイン語及び中国語で実施する。

(4) 外国人税務相談 (⑩60千円→⑰60千円)

名古屋税理士会とともに確定申告書の書き方など税金についての相談会を英語、ポルトガル語及びスペイン語により開催する。

(5) 外国人こころの相談 (⑩1,152千円→⑰1,152千円)

日本ででの生活で生じる外国人の不安や悩みなどを解消するための相談を、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語及びハンガールで通訳を介さず実施する。

## II 広報出版事業

- 1 「ニック・ニュース (NIC NEWS)」の発行 (⑩7,009 千円→⑰7,009 千円)  
国際センターの活動紹介と国際交流・協力に関する情報提供のため、月刊広報誌「ニック・ニュース」を毎月 10,000 部発行する。
- 2 「ナゴヤ・カレンダー (NAGOYA CALENDAR)」の発行  
(⑩4,862 千円→⑰4,862 千円)  
名古屋地域の外国人を対象に、この地域のイベント・生活情報等を紹介する月刊情報誌「ナゴヤ・カレンダー」を毎月英語版 6,000 部、ポルトガル語版 2,000 部発行する。
- 3 年報の発行 (⑩424 千円→⑰424 千円)  
国際センターの平成 16 年度の事業活動をまとめた年報を発行する。
- 4 国際センター事業紹介ビデオの作成 (⑩425 千円→⑰425 千円)  
国際センターの事業を紹介するため、日本語と英語によるビデオを作成する。(平成 16・17 年度版)
- 5 ホームページによる情報発信 (⑩427 千円→⑰1,237 千円)  
生活関連情報、イベント情報、市政概要等多彩な情報を国際センターのホームページで日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ハンデル、フィリピン語及びフランス語により作成し、広く情報発信する。

## III 研修事業

- 1 ジュニア国際カレッジ (⑩265 千円→⑰265 千円)  
主に中学生を対象に、国際理解や異文化コミュニケーションに必要な基本的知識・技能を習得させ、「未来の国際人」を育成するセミナーを開催する。
- 2 国際理解教育セミナー (⑩248 千円→⑰248 千円)  
国際理解教育の理念やプログラム、地域の様々なリソース (情報・人材・資料など) を参加型体験型学習形式で紹介するセミナーを、地域の国際理解教育に関わる団体で構成される実行委員会により開催する。
- 3 国際理解教室 (⑩15 千円→⑰15 千円)  
小学生から社会人まで幅広く館内見学を受け入れ、国際センターの事業を紹介するとともに、外国人等による海外の生活・文化を紹介する国際理解教室を開催する。

- 4 留学説明会 (⑩50 千円→⑰50 千円)  
外国公館等の協力を得て、留学説明会を実施する。
- 5 海外赴任サポートセミナー (⑩10 千円→⑰10 千円)  
海外派遣をしている企業の人事担当者や派遣予定者を対象に、現地におけるビジネス、危機管理、生活等についてのセミナーを、名古屋商工会議所とともに開催する。
- 6 行政窓口外国語(英語)研修 (⑩1,280 千円→⑰650 千円)  
名古屋市から委託を受けて、名古屋市職員を対象に窓口業務等で必要な外国語能力の向上を図る研修を実施する。

## IV 国際交流・協力事業

- 1 外国人講師地域派遣事業「NIC 地球市民教室」(⑩250 千円→⑰3,250 千円)  
学校や地域からの依頼に基づき、あらかじめ登録された外国人スタッフや留学生等を講師として派遣し、講演又は交流事業を実施することにより、地域の国際理解を促進する。
- 2 お泊り de トーク (⑩300 千円→⑰500 千円)  
NIC 地球市民教室の外国人講師を地域に派遣し、ホームステイ及びトークを実施することにより、家庭をはじめとした草の根レベルでの市民交流を推進する。
- 3 民間大使母国紹介事業 (⑩16,519 千円→⑰16,564 千円)  
なごや民間大使の母国について、その文化・歴史・風俗・習慣等を広く市民に紹介するイベントを企画・開催する。
- 4 ワールド・コラボ・フェスタ 2005 (⑩3,000 千円→⑰4,500 千円)  
(財)愛知県国際交流協会及び JICA 中部と連携して、世界各地の文化や当地域の NGO・NPO 団体の活動を広く紹介することにより、国際交流・協力への意識を高める事業を開催する。
- 5 “世界寺子屋運動”名古屋実行委員会事務局の運営  
世界の識字教育環境づくりを支援するため、“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会事務局として、書き損じはがき回収キャンペーンに取り組む。

- 6 地域の国際化セミナー（⑩686千円→⑪686千円）  
民間国際交流団体・地方公共団体等の実務担当者及び市民を対象として、地域の国際化のための具体的な方策を探るセミナーを開催する。
- 7 国際交流に関する調査、研究（⑩4,069千円→⑪4,177千円）  
異文化への理解を深めるため、国際センターの外国人スタッフ等を活用した交流事業のあり方を調査、研究する。
- 8 「NIC日本語の会」の運営（⑩2,029千円→⑪2,029千円）  
名古屋地域在住の外国人を対象に、基本的な日本語の習得と生活情報の提供を目的とした3か月単位(日曜日開催)の講座を、ボランティアの運営協力のもと年3回開講する。  
また、東海地域における日本語ボランティアの連携を図るために、「日本語ボランティアシンポジウム」を開催する。

## V 民間国際交流活動振興事業

- 1 名古屋ホームステイ・ボランティアセンターの運営（⑩24,000千円→⑪13,000千円）  
2005年愛・地球博の開催に伴い、名古屋を訪れる外国人のホームステイ受入れをコーディネートし、市民レベルの国際交流を推進する。
- 2 民間国際交流活動振興事業  
地域の民間交流団体及び個人のボランティア活動に対し、各種の情報及び活動の場を提供し、これらの活動の側面的な支援を行う。また、国際交流活動に対して、共催・後援等による支援を行う。
- 3 ボランティア制度の運営（⑩3,340千円→⑪3,340千円）  
多文化共生社会の形成を目的として幅広く市民の協力を得て、ボランティア制度の推進に努めるとともに、ボランティアの自主的活動を支援する。
- 4 ネットワーク懇談会  
市民レベルの国際交流・協力活動を推進し、関係団体との情報交換を通して連携を深めるため、ネットワーク懇談会を開催する。

## VI 国際留学生会館事業

### 1 宿泊事業（⑩376千円→⑪376千円）

愛知県内の大学等に在学する留学生が当地での生活に速やかに溶け込めるよう良質・快適な宿泊施設を提供するため、入居者の募集、選考等を行う。（定員 100 名）

### 2 研修事業（⑩325千円→⑪325千円）

留学生を対象に、日本語講座及び日本文化理解講座を開催する。

### 3 情報提供・相談事業

留学生のために、アルバイトや奨学金等についての情報提供と学業、生活上の各種相談を行う。

### 4 交流事業（⑩242千円→⑪242千円）

住民と留学生との交流を深めるほか、留学生を講師とする外国語講座及び外国事情紹介講座の開催、区役所や諸団体の行事に参加する等、交流事業を通じて留学生と市民との相互理解を促進する。

### 5 その他の事業

#### （1）住宅敷金貸付事業（⑩1,985千円→⑪1,985千円）

名古屋市内の住宅を賃借する名古屋市内在住の私費留学生を対象に敷金の貸付を行う。

#### （2）留学生支援金給付事業（⑩18,000千円→⑪18,000千円）

愛知県内の大学に在学している名古屋市内在住の私費留学生を対象に安定した勉学の条件整備を図るため支援金を支給する。

## VII 施設管理事業等

### 1 施設管理の受託（⑩116,618千円→⑪115,221千円）

名古屋市から国際センターの施設管理の委託を受け、施設貸出業務その他の管理を行う。

### 2 国際留学生会館の維持管理等（⑩26,480千円→⑪26,300千円）

国際留学生会館の施設の維持管理を行う。

## VIII その他

### 1 賛助会員制度の運営（⑩1,261 千円→⑪1,261 千円）

国際センターの活動に対して支援を得るため、賛助会員制度の充実に努め、会員を対象とした行事などを実施する。

### 2 国際的施設誘致事業（⑫27,407 千円→⑬27,407 千円）

名古屋の国際化を推進するため、国際連合地域開発センター（UNCRD）を始めとする国際機関を受け入れるとともに、UNCRD と連携して諸外国の大都市問題・政策に関する調査研究を行う。